学校番号	2004

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	詳説日本史（山川出版）						
副教材等	図説日本史通覧（帝国書院），新日本史要点ノート(啓隆社)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本史探究では，歴史総合の学習によって身につけた力を基に，日本の歴史の展開を学習していきます。日本に様々な文化財や史料があり，歴史的事象を考察する材料がたくさんあります。様々な史料やデータから適切な情報を読み取って，レポートにまとめたり発表したりする活動などを通じて，歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断する力を養います。歴史の学習を通じて，社会的事象の見方・考え方を身につけていきましょう。

2　学習の到達目標

(1)日本の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに，諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
(2)日本の歴史に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などについて，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察し，考察したことを効果的に説明する力や考察を基に議論したりする力を養う。
(3)日本の歴史に関わる諸事象について関心を持ち，主体的に学習に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本の歴史について，地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに，諸資料から必要な情報を収集し，読み取り，まとめる技能を身につけている。	日本の歴史の事象や歴史に見られる課題について，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目しながら多面的･多角的に考察し，考察したことをレポートにまとめるなど，適切に表現している。	日本の歴史の展開に関わる諸事象や課題について，主体的に追究しようとしている。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	日本文化のあけぼの	1　文化の始まり 2　農耕社会の成立	a: 旧石器文化から縄文文化への変化，弥生文化の成立などを基に，黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成，原始社会の特色を理解している。 b: 原始社会の特色について，多面的・多角的に考察し，根拠を示して表現している。 c:原始社会の特色について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 提出ノート
	歴史資料と原始・古代の展望	1　古代社会と海外との交流 2　木簡から古代国家を探る	a: 資料の記述をもとに，歴史に関わる情報を収集して読み取る技能を身につけている。 b: 資料の特性を踏まえ，資料を通して読み取れる情報から，多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート
	古墳とヤマト政権	1　古墳文化の展開 2　飛鳥の朝廷	a:国家の形成と古墳文化，律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に，古代の政治・社会や古墳文化の特色を理解している。 b: 小国の形成と連合，古代の国家の形成過程，古墳時代の特色について，多面的・多角的に考察し，根拠を示して表現している。 c: ヤマト政権の成立と古墳文化に関わる諸事象に関する課題を主体的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 提出ノート
	律令国家の形成	1　律令国家への道 2　平城京の時代 3　律令国家の文化 4　律令国家の変容	a: 律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に，古代の政治・社会や文化の特色を理解している。 b: 古代の国家の形成過程や律令国家形成期の特色について，多面的・多角的に考察し，根拠を示して表現している。 c: 律令政治の導入と，それにともなう社会の変化について，課題を主体的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 提出ノート
学	単	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		

				知(a)	思(b)	主(c)
前期	貴族政治の展開	1　摂関政治 2　国風文化 3　地方政治の展開と武士	a：貴族政治の展開，平安期の文化，地方支配の変化や武士の出現などを基に，律令体制の再編と変容，古代の社会と文化の変容を理解している。 b：古代の国家・社会の変容について，多面的・多角的に考察し，根拠を示して表現している。 c：貴族政治の変容や武家政権の成立，当該期の世界との関わりについて，課題を主体的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 提出ノート
	院政と武士の躍進	1　院政の始まり 2　院政と平氏政権	a：貴族政治の変容と武士の政治進出，土地支配の変容などを基に，古代から中世への時代の転換を理解している。 b：古代から中世の国家・社会の変容について，多面的・多角的に考察し，根拠を示して表現している。 c：貴族政治の変容や武家政権の成立，当該期の世界との関わりについて，課題を主体的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 提出ノート
	歴史資料と中世の展望	絵画から中世社会を探る	a：『年中行事絵巻』『一遍上人絵伝』『洛中洛外図屏風』を比較して，様々な情報を適切かつ効果的に調べてまとめている。 b：複数の絵画資料に描かれている中世の都大路の様子を比較した結果について，時代を通観する問いを踏まえて考察し，仮説を表現している。 c：中世の京都を描いた絵画資料から得られる情報をもとに，中世社会の特色について主体的に課題を見出そうとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート

学	単	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法

				知(a)	思(b)	主(c)
前期	武家政権の成立	1　鎌倉幕府の成立 2　武士の社会 3　モンゴル襲来と幕府の衰退 4　鎌倉文化	a：武家政権の成立と展開，産業の発達，宗教や文化の展開などを基に，武家政権の伸張，社会や文化の特色を理解している。 b：中世の国家・社会の展開について，多面的・多角的に考察し，根拠を示して表現している。 c：武家政権の成立と展開，鎌倉時代の産業・文化の発展，公武関係の変化，ユーラシアとの交流などについて，課題を主体的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 提出ノート
	武家社会の成長	1　室町幕府の成立 2　幕府の衰退と庶民の台頭 3　室町文化 4　戦国大名の登場	a：武家政権の変容，日明貿易の展開と琉球王国の成立，村落や都市の自立，多様な文化の形成や融合などを基に，地域権力の成長，社会の変容と文化の特色を理解している。 b：中世の国家・社会の変容について，多面的・多角的に考察し，根拠を示して表現している。 c：中世の国家や社会の変容に関わる諸事象について，課題を主体的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 提出ノート
後期	近世の幕開け	1　織豊政権 2　桃山文化	a：織豊政権の政治・経済政策，貿易や対外関係などを基に，中世から近世への時代の転換を理解している。 b：中世から近世の国家・社会の変容について，多面的・多角的に考察し，根拠を示して表現している。 c：織豊政権の成立前後からの歴史の展開に関わる諸事象について，課題を主体的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 提出ノート

学	単	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法

				知(a)	思(b)	主(c)
後期	歴史資料と中世の展望	生類憐みの令からみる江戸時代の社会の変化	a: 法令の内容を適切に読み取り，生類憐みの令が出された当時の社会について，文芸作品との関わりも踏まえて理解している。 b: 生類憐みの令が出された時期の諸政策や国際的な環境の変化を基に，江戸時代の特徴を多面的・多角的に考察し，仮説を表現している。 c: 戦国時代までの社会と比較し，近世がどのような社会に変わったのかについて，課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート
	幕藩体制の成立と展開	1　幕藩体制の成立 2　幕藩社会の構造 3　幕政の安定 4　経済の発展 5　元禄文化	a: 法や制度による支配秩序の形成と身分制，貿易の統制と対外関係，技術の向上と開発の進展，学問・文化の発展などを基に，幕藩体制の確立，産業の発達，近世の社会と文化の特色を理解している。 b: 近世の国家・社会の展開について，多面的・多角的に考察し，根拠を示して表現している。 c: 近世の国家・社会の展開に関わる諸事象について，課題を主体的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 提出ノート
	幕藩体制の動揺	1　幕政の改革 2　宝暦・天明期の文化 3　幕府の衰退と近代への道 4　化政文化	a: 産業の発達，飢饉や一揆の発生，幕府政治の動揺と諸藩の動向，学問・思想の展開，庶民の生活と文化などを基に，幕藩体制の変容，近世の庶民の生活と文化の特色，近代化の基盤の形成を理解している。 b: 近世の国家・社会の変容について，多面的・多角的に考察し，根拠を示して表現している。 c: 近世の国家・社会の変容に関わる諸事象について，課題を主体的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 提出ノート

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	近世から近代へ	1　開国と幕末の動乱 2　幕府の滅亡と新政府の発足	a: 対外政策の変容と開国, 幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に, 近世から近代への時代の時代の転換を理解している。 b: 近世から近代の国家・社会の変容について, 多面的・多角的に考察し, 根拠を示して表現している。 c: 幕末の変化に関わる諸事象について, 課題を主体的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 提出ノート
	近代国家の成立	1　明治維新と富国強兵 2　立憲国家の成立	a: 明治維新, 自由民権運動を基に, 国民国家の形成, アジアや欧米諸国との関係の変容, 文明開化の風潮を理解している。 b: 日本の工業化の進展, 近代の文化の形成について, 多面的・多角的に考察し, 根拠を示して表現している。 c: 明治維新の変化に関わる諸事象について, 課題を主体的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 提出ノート
	近代国家の展開	1　日清・日露戦争と国際関係 2　第一次世界大戦と日本 3　ワシントン体制	a: 大日本帝国憲法の制定, 条約改正, 日清・日露戦争などを基に, 立憲体制への移行, 国民国家の形成, アジアや欧米諸国との関係の変容を理解している。 b: 近代の政治の展開と国際的地位の確立について, 多面的・多角的に考察し, 根拠を示して表現している。 c: 日清・日露戦争が日本国内や諸外国に与えた影響や, 第一次世界大戦とその後の変化に関わる諸事象について, 課題を主体的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 提出ノート

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	近代の産業と生活	1　近代産業の発展 2　近代文化の発達 3　市民生活の変容と大衆文化	a：産業革命の展開，交通の整備と産業構造の変容，交通の整備と産業構造の変容，学問の発展や教育制度の拡充，社会問題の発生などを基に，産業の発展の経緯と近代の文化の特色を理解している。 b：日本の工業化の進展，近代の文化の形成について，多面的･多角的に考察し，根拠を示して表現している。 c：近代国家形成の変化に関わる諸事象について，課題を主体的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 提出ノート
	恐慌と第二次世界大戦	1　恐慌の時代 2　軍部の台頭 3　第二次世界大戦	a：軍部の台頭と対外政策，戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に，第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治･社会，国民生活の変容を理解している。 b：第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて，多面的･多角的に考察し，根拠を示して表現している。 c：十五年戦争の変化に関わる諸事象について，課題を主体的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 提出ノート
	占領下の日本	1　占領と改革 2　冷戦の開始と講和	a：占領政策と諸改革，日本国憲法の成立，平和条約と独立の回復などを基に，我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係を理解している。 b：戦前と戦後の国家･社会の変容，戦後政治の展開，日本経済の発展，第二次世界大戦後の国際社会における我が国の役割について，多面的･多角的に考察し，根拠を示して表現している。 c：戦後日本の変化に関わる諸事象について，課題を主体的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 提出ノート

学	単	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法

				知(a)	思(b)	主(c)
後期	高度成長の時代	1　55 年体制 2　経済復興から高度経済成長へ	a: 戦後の経済復興, アジア諸国との関係, 高度経済成長, 社会･経済･情報の国際化などを基に, 現代の政治や社会の枠組み, 国民生活の変容を理解している。 b: 日本経済の発展, 第二次世界大戦後の国際社会における我が国の役割について, 多面的･多角的に考察し, 根拠を示して表現している。 c: 高度経済成長による人々の生活の変化について, 課題を主体的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 提出ノート
	激動する世界と日本	1　経済大国への道 2　冷戦の終結と日本社会の変容	a: 社会・経済・情報の国際化などを基に, 政治･経済や対外関係, 現代の政治や社会の枠組み, 国民生活の変容を理解している。 b: 政治の展開, 日本経済の発展, 国際社会における我が国の役割について, 多面的･多角的に考察し, 根拠を示して表現している。 c: 現代日本の変化に関わる諸事象について, 課題を主体的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 提出ノート
	現代日本の課題の探究	様々な災害と日本	a: 過去の災害に関する諸資料を読み解いて得られた情報をもとに, 現代日本の課題の形成に関わる歴史を理解している。 b: 過去の災害に関する諸資料と, 既習知識と結びつけて多面的･多角的な考察し, 表現している。 c: 自ら主題を的確に設定し, 資料を適切に解釈したうえで複数の解釈を比較･検討･選択し, 充分な論理展開で叙述･表現している。	定期考査	定期考査 レポート	レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度